



渋谷本町学園だより

★HPアドレス★

<http://shibuya.schoolweb.ne.jp/shg>

令和6年10月8日発行 NO.6

渋谷区立渋谷本町学園

統括校長 清野 正

TEL 3373-3201

人や社会を信じる心

統括校長 清野 正

残り数日で前期が終わり、間もなく令和6年度の後期が始まります。6月から続く長い酷暑もようやく峠を越え、過ごしやすい、さわやかな季節を迎えます。今月26日(土)には運動会、11月2日(土)には6年生鼓笛隊が「くみんの広場パレード」で演奏を披露します。すでに練習がスタートし、お子様も張り切って取り組んでいます。お子様の活躍ぶりをどうぞ御期待いただきたいと思います。

今月の学校だよりでは本学園9年生の作文をご紹介します。この作文は、小学6年生の時に大きな病気をし、一年以上入院生活を送った経験について書かれています。入院中は悲しさやショックを感じた一方で、主治医や医療スタッフたちからの温かい支えを受け、多くのことを学んでいます。理不尽なことに直面しても、自分の経験を通じて得た強さと希望をもち、社会をより良くするために努力したいと考えています。自分の人生を背負う覚悟をもち、人や社会を信じる強さをもとうとする姿勢に大きな感動を覚えます。きっと学園に通うお子様全員がそれぞれに様々な思いを抱き、日々頑張っています。我々大人たちも一人一人のお子様をしっかり支え、人や社会を信じる心を育てていきたいと思っています。

入院生活から社会を考える

私は、小六の九月に大きな病気をし一年以上の入院生活を送った。振り返る事はほとんどなかった。「もう終わったことだから気にしない。」気持ちに蓋をしていた。

入院は悲しかった。ショックだった。私の人生諦めないといけない事だらけなのか？入院から二年半過ぎた今も倦怠感が強い。定期的に外来に通い、採血をする。思い切り体を動かしたいのに運動制限があり、部活動には週二回しか参加できない。眠気が強く、宿題ができない日もある。本気が出せない毎日に焦り・苛立ち・悔しさがある。いつまで続くのだろう。

一方で、本当に悲しい経験だけなのだろうか？入院中は主治医がついている。病気の事はもちろん、どんな時も笑顔で大笑いする先生だ。「本当はミュージシャンになりたかった。」等、医者というよりは明るなおじさんの親友ができた感覚だ。「笑うとNK細胞が増えて免疫力が上がるよ。」と、入院生活の土台を支えてくれた。今は外来で先生に

会う。「この治療を終えて部活動にまで参加するあなたは治療する全ての子達の希望。本当に嬉しい！」と。先生はとてもほめ上手だ。薬の説明だけでなく、一緒にボードゲームをしながら「私たち同い年だったら絶対仲良しになれたよね」と言ってくれた薬剤師さん。「あなたの良いところは一緒にいるだけで幸せな気持ちになれるところ」と私には想像もつかない事を教えてくれた保育士さん。静かに丁寧に話を聞いてくれる心理士さん。話すことが苦手な私は、カウンセリングに苦手意識を持っていたが母との面談で、何も言わない私の気持ちを正しく把握してくれていた事を知り驚いた。治療の影響で食事が摂れなくなった時、部屋に来て食事の形態を一緒に考えてくれた栄養士さん。毎日汗だくになる風船バレー、運動が好きな私の楽しみな時間。思いっきり動けるよう伸縮性のある点滴のルートに付け替えてくれた理学療法士さん。看護師さんはもちろんそれぞれの役割を果たしながら、私を患者としてだけではなく一人の中学生として心から関わってくれる人達がいる。病気にならなければ知ることのない世界だった。年上の沢山の友達私の財産だ。

学習面は養護学校のオンライン授業を受けた。退院後挨拶に行った時、優しく抱きしめて涙してくれた先生もいた。一年以上オンラインでしか会うことができなかつたので実際に会えて不思議な感覚だった。「近くだからいつでも顔を出してね。」と言われたが、上手く話せる気がしないので、長期休みごとに近況報告の葉書を自転車で出しに行く。学校のポストにそっと出す。必ず返事が届くのも嬉しい。

病気を見つけてくれたかかりつけの女医さんにも退院後挨拶に行った。「よく頑張った。あなたには長い治療を一喜一憂せず我慢強く乗り越える力・淡々と努力する力がある。助けられたのだから大きくなったら人様のお役に立つ人間になる。頑張った分これから楽しいことが沢山ある。期待しているからね。」私の肩をさすり涙を流しながら話してくれた事、私は忘れないし期待に応えたいと思った。

病気になった事は決して良い事ではない。私たち家族にとってとても悲しい出来事だった。しかし、それとは別に私達を全力で支える人達の存在を知った。家族ではなくても本来人は人を想う力がある。昨日まで知らなかった人が、自分を支える大切な人になる社会が存在している事を体感した。だから私も悔しいこと、できなかったことばかりに目を向けず人や社会を信じる気持ちを大切に生きたい。

また、学校は先生や親に守られているので理不尽に感じることは少ない環境だと気づいた。私は外来で毎回採血をする。針を刺された事に気づかないベテラン検査技師さんもいれば、訓練中の医者は針を何度も動かしたり刺し直したりする事もある。「またあの先生がいる！私の名前呼ばないで！」手に汗を握り心の中で叫ぶが呼ばれてしまったら、覚悟を決めて採血台へ向かう。内出血をした跡を見ながら、入院中の人間関係には恵まれたが、世の中はそんなに甘くないのかもしれないとも考える。そもそも病気をした事、今も後遺症に悩まされる事も理不尽だ。私の経験が全ての人に当てはまるはずもなく、私はかわいそうだと言いたい訳でもない。きっと社会の多くの人々は悩み、苦しい想いを抱えているだろう。私が気づかされた事は自分の人生を背負う覚悟をもつこと。理不尽だと感じて、自身のリアルな体験から真実を見抜き、人や社会を信じる強さをもつ。理想論かもしれない。様々な立場の人がいる。その人々がそれぞれ自身の人生と向き合い覚悟を決め、人や社会を信じる心をもてば、私たちのこの社会は一段底上げされ「明るい社会」に近づくと考える。

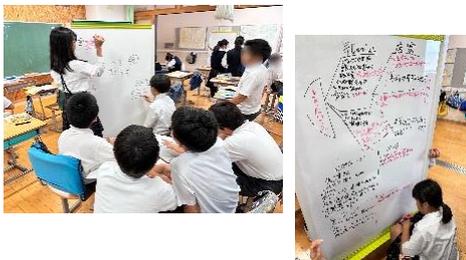
今後の行事予定

(): 学年 B: B時程

月	火	水	木	金	土/日
	10月1日 都民の日	10月2日 特 4時間授業(1-9)	10月3日 児童集会(小) 歯科検診(7-9・F)	10月4日 B 第2回進路説明会	10月5日 /10月6日
10月7日 小学校陸上記録会(6) オンライン交流会(E)	10月8日	10月9日 B 前期終業式 4時間授業(1-9)	10月10日 秋季休業日始 連合音楽会(中)	10月11日 秋季休業日終	10月12日 クリーン作戦 /10月13日
10月14日 スポーツの日	10月15日 後期始業式 安全指導	10月16日 B 個人面談始(F)	10月17日	10月18日 B 委員会・代表委員会	10月19日 /10月20日 本町大運動会
10月21日 中央委員会	10月22日 個人面談終(F)	10月23日 特	10月24日	10月25日 B 4時間授業(1-5) 5時間授業(6-9) 運動会開会式	10月26日 運動会 AM: 初等部 PM: 中高等部 /10月27日
10月28日 振替休業日	10月29日 運動会閉会式	10月30日 B 国立競技場 スタジアムツアー(5)	10月31日 鼓笛隊壮行会(小) 進路面談・ 4時間授業(9)		

ラーニング・コモンズ

未来の学校の取組の一環として、9月よりラーニング・コモンズの家具や教材が、校舎の様々な場所に設置されました。子供達の学びの幅が広がり、授業や学びが、さらに楽しく充実しています！



小学校では、両面使用できるホワイトボードの導入をしました。班ごとの仕切りや、話し合いボードとして自分たちの思いの場所や使い方をしていきます。活用してみた子供たちからは、「みんなで書きながら話すことができるから情報共有、話し合いがしやすい。」「みんなで学習ができる。」という声がありました。新しい学び方を推進していきます。

施策推進部主任 主任教諭 野村 美里



中学校は、4Fに椅子やコルクカーペット等が設置されました。生徒達は、シブヤ未来科等の授業で活用して思い思いに学んだり、休み時間に活用して、話し合いをしたり、勉強したりしています。また生徒会が、ラーニング・コモンズの活用により、自主的に放課後自習教室を実施することになりました。

ラーニング・コモンズが導入されてから、今まで以上に、子供達の笑顔が増えています。

施策推進部主任 主幹教諭 福守 久子

ALT Message

Music is an important part of the English lessons. It serves as a warm-up activity to grab the students' attention and set the mood for the learning process. Through music, students learn new vocabulary and grammar. It is a great way to improve spelling, reading, writing, speaking, and listening.

The best of all, music is fun.

By Tugano Yolando Libertis



Yoland, the 8th grade ALT, sings with the students.

音楽は英語レッスンの重要な一部です。音楽は、生徒の注意を引き、学習プロセスのムードを作るウォーミングアップの役割を果たします。

音楽を通して、生徒たちは新しい語彙や文法を学びます。音楽を活用した英語レッスンは、スペリング、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングを上達させる素晴らしい方法です。何よりも、音楽は楽しいです。

8年生のALT ヨーランドが、生徒たちと一緒に歌う場面です。

～HONMACHI 交流広場～

特別支援学級から ～E組・F組の連携～

本校には、特別支援学級「E組」(1～6年生)・「F組」(7～9年生)が設置されています。E組とF組は教室も隣り合っていて、定期的に交流を図っています。去る9月11～13日の期間、F組の生徒たちは、群馬県の赤城青少年交流の家へ移動教室に行ってきました。そして後日、E組の児童を対象に報告会を行いました。動画やプレゼンテーションソフトを使った分かりやすいF組の発表は、E組の児童にとって興味深く、将来の見通しをもてる機会となりました。

E組主任 教諭 長瀬 輝久 F組主任 主任教諭 大嶋 浩司